

阪神・淡路大震災、および歴史地震から学ぶ災害・災厄——ワークショップ

# 「歴史地震(貞観地震)に学ぶ津波の実態」

日本では、しばしば災害が起こります。来年1月、阪神・淡路大震災から20年を迎えるのを前に、神戸大学地理学教室ではワークショップを開催します。貞観地震(平安時代)や安政地震(江戸時代)といった歴史地震等を紹介し、阪神・淡路大震災や今後の災害について考えます。



# 11.7 (金) ⇒ 11.17 (月)

時間 10:00~16:30 (見学無料 / 土・日閉室 / 最終日は15:00まで)

※授業による団体見学等のため利用制限の生じる場合がございます。予めご了承下さい。

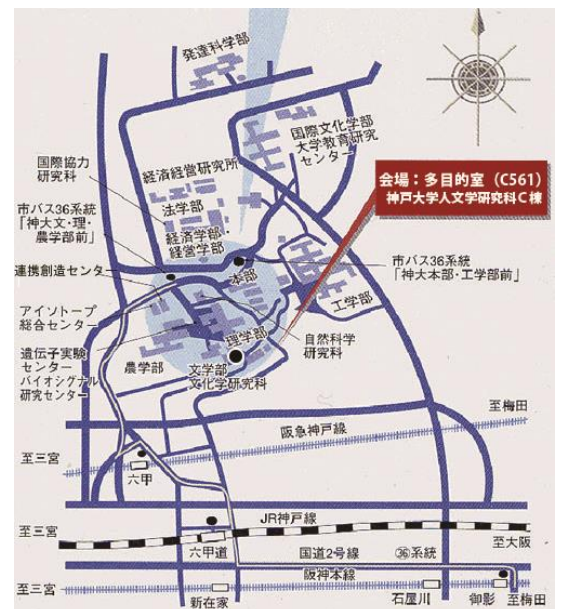
会場 神戸大学人文学研究科・文学部  
C棟5階多目的室 (C561室 / 人文図書館のある建物の5階です)  
<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokkodai-dai2.html> 大学アクセスマップ、24番の建物

内容 宮城県沖で平安時代に発生した貞観地震(869年)の津波堆積物について、地層の剥ぎ取り標本を展示するほか、過去の大規模な地震による災害事例を紹介する予定です。

主催 神戸大学大学院人文学研究科・文学部 地理学教室  
問合せ 神戸大学大学院人文学研究科・文学部 地理学教室  
HPアドレス <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/geography/index.html>

(受付担当: 菊地 mkikuchi@lit.kobe-u.ac.jp)

写真(左から) 生田神社境内の安政地震による折れ鳥居; 阪神・淡路大震災で被災したメリケン波止場(メリケンパーク); 神戸市による津波避難情報版(三宮)



協力 独立行政法人産業技術総合研究所, 神戸大学人文学研究科地域連携センター, 神戸大学附属図書館